

事業名称	子供達、高齢者、市民で作ろうおんがくのまち 「ほのぼのさんと歌で繋がろう！コロナに負けないぞ！」
団体名・代表者	ほのぼのさん 澤崎美重子
協働の相手方	文化国際課

目的	未来を担う子供達に、音楽を通して、高齢者、市民の皆さんと言った多世代交流、達成する喜び、創り上げる喜びを感じてもらい、音楽、芸術を好きになってもらい、また多世代の交流の場を設け、音楽をツールとして繋がる世界を体感してもらうことを目的とする。
内容・事業経過	<p>2020年10月～ 企画内容の細かい打ち合わせ</p> <p>11月～ 募集チラシの作成、配布</p> <p>11月末 募集チラシ50,000枚を作成し、姫路市内の小学生に募集 (市役所より各小学校、公民館、児童館、広報ひめじなどへ)</p> <p>11月末 姫路市の各小学校へ配布</p> <p>12月 神戸新聞社の新聞記事</p> <p>12月中旬 参加者募集締め切り → 20名応募 姫路市音楽演劇練習所</p> <p>12月13日 オーディション → 15名に絞る 姫路市音楽演劇練習所</p> <p>2021年1月17日 顔合わせ、初練習 姫路市音楽演劇練習所</p> <p>1月24日 歌練習</p> <p>1月31日 オンラインレッスン</p> <p>2月7日 歌練習</p> <p>2月14日 オンラインレッスン</p> <p>2月21日 歌練習</p> <p>2月28日 リハーサル</p> <p>3月7日 CD録音、動画撮影</p> <p>3月13日 リハーサル</p> <p>3月14日 姫路駅前にごわい広場にて お披露目ステージ</p>
事業の効果	世代の市民の皆さんと一緒に一つの作品を作り上げ、目標を持って芸術に取り組み、成果を発表することは、あらゆる世代と結びつき、子供達が音楽や芸術を好きになるきっかけとなり、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの目指す「地域の文化力の向上、交流機会の創出、次世代を担う子供達の育成」にも繋がると考える。
今後の展望	音楽をツールとして、多世代交流を引き続き測る。 今回集まった子供たちに、引き続き、音楽の素晴らしさを大人が伝えられる場を作る。

【実施団体の事業総括・感想等】

<p>コロナの中での開催ではありましたが、子供も大人も音楽を通じ、楽しめたと考えています。そして、また次もやりたいという気持ちを持ってたことは、大いなる成果と考えます。今回は、今回、情勢がコロナのため出来なかった、高齢者、体の不自由な方々とも音楽を通じた交流ができることを希望します。</p>
--

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

<p>新型コロナウイルスの影響で事業スケジュールが立てにくい中、リモートでのレッスンや動画撮影を行い、感染防止策を講じた上で最終的に本番公演を実施できたことは大きな成果であったと考える。参加者は小さな子供から大人までおり、世代間の交流を促しただけでなく、純粋に音楽の楽しさや音楽の持つ力を再確認することができる有意義な取り組みとなった。</p> <p>今後はより幅広い世代や立場の人々も巻き込んで、継続的な取り組みとして「音楽のまち・ひめじ」を盛り上げていってほしいと考える。</p>
--